

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校1年 本科・International Course Standard	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 国語総合古典	Class hours 時間数	2時間 / 週
----------------------------------	--	---------------------------------	--------------	--------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	怖ろしさは、なぜ魅力的なのか？ —怪談話への誘い—	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『新精選国語総合 古典編』明治書院 「古文単語315」桐原書店
------------------------------	---------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

Unit Description 単元の概要	本格的な古典文学の入門として「物の怪」に注目する。中学3年次に扱った『伊勢物語』の「芥川」を橋渡し教材として、次に徒然草の「猫また」の読解を通じた基本語彙よ文法の理解と習得を目指す。「恋」というテーマに限らず、「物の怪」という新たなテーマ設定ができることに気づき、人間が歴史を通して「物の怪」を描く意味について最初の考察をする。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
----------------------	--------------------------

楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3	A3	B3 自ら「物の怪」について調べ、他の古典作品や現代にも受け入れられている作品に注目する。	C3		
	好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2 作品を比較しながら関連性を整理することができる。修辞法を踏まえ、多義語の意味を比較検討し、現代語訳を見直す。		C2 他者との共生のなかで、日本の文化を形づくる普遍的な思想や感性に気づき、現代社会に投影できる。	A2 単語と文法を調べて直訳する。	B2 文法事項や「物の怪」の描かれ方に注目し、解釈の広がりや考察する。語の意味の多義性を踏まえて現代語訳を作り、心情の理解や短歌の解釈に根拠を持たせる。	C2 現代の日本人の「物の怪」に対する認識について考察する。自分の感じる「恐ろしさ」を相対化する。
	知	A1 歴史的仮名遣いや古語を理解する。基本となる文法・句法を理解する。	B1 時代ごとの世相と作品との影響関係を理解する。古典における修辞法を理解する。		C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。	A1 正しく音読し、用言と助詞・助動詞の文法的知識を理解する。	B1 古典文学の世界観、物語の展開の型を理解する。	C1 歴史を通して「物の怪」に対する価値観が変わることに気づく。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking					

Others 備考	<評価方法> ①ワークシートの課題 ②発表 <ICT> ①Classiポートフォリオ ②keynote ③Google HP
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 本科・International Course Standard	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 国語総合古典	Class hours 時間数	2 時間 / 週
----------------------------------	--	---------------------------------	--------------	--------------------	----------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	怖ろしさは、なぜ魅力的なのか？ —怪談話への誘い—	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『新精選国語総合 古典編』 明治書院 「古文単語315」 桐原書店
------------------------------	---------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

Unit Description 単元の概要	本格的な古典文学の入門として「物の怪」に注目する。『御伽婢子』や『今昔物語』の中から作品を選び、基本語彙と文法の理解と習得を進めながら、作品の理解を深める。「物の怪」という新たなテーマ設定に対し、人間が歴史を通して「物の怪」を描く意味についての考察を深める。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
----------------------	--------------------------

楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3	A3	B3 「物の怪」の描かれ方について現代との比較から課題意識を持つ。	C3
好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2 作品を比較しながら関連性を整理することができる。修辭法を踏まえ、多義語の意味を比較検討し、現代語訳を見直す。	C2 他者との共生のなかで、日本の文化を形づくる普遍的な思想や感性に気づき、現代社会に投影できる。	A2 単語と文法を調べて直訳する。	B2 文法事項や「物の怪」の描かれ方に注目し、解釈の広がりや考察する。語の意味の多義性を踏まえて現代語訳を作り、登場人物のやり取りと心情の理解を深める。	C2 現代の日本人の「物の怪」に対する認識について考察する。自分の感じる「怖ろしさ」を相対化する。
知	A1 歴史的仮名遣いや古語を理解する。基本となる文法・句法を理解する。	B1 時代ごとの世相と作品との影響関係を理解する。古典における修辭法を理解する。	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。	A1 正しく音読し、用言と助詞・助動詞の文法的知識を理解する。	B1 古典文学の世界観、物語の展開の型を理解する。	C1 歴史を通して「物の怪」に対する価値観が変わることに気づく。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ①ワークシートの課題 ②発表 <ICT> ①Classiポートフォリオ ②keynote ③Google HP
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 本科・International Course Standard	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 国語総合古典	Class hours 時間数	2 時間 / 週
---	--	--	--------------	---------------------------	----------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	信仰心をもつということ ―仏教と陰陽道の世界―	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『新精選国語総合 古典編』明治書院 「古文単語315」桐原書店
-------------------------------------	-------------------------	--	------------------------------------

Unit Description 単元の概要	1 学期の学びを土台として、「恐ろしい」という感情がその時代ごとの「信仰」のあり方にも関わっていることを踏まえ、いくつかの作品を通して人間と信仰について考察する。そのなかで陰陽道の位置づけにも注目し、さまざまなメディアを通して目に触れることが多いテーマを題材に人間の心について議論する。引き続き、作品の読解を通して基本語彙と文法の定着を図る。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
-----------------------------	---------------------------------

楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3
好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2 作品を比較しながら関連性を整理することができる。修辞法を踏まえ、多義語の意味を比較検討し、現代語訳を見直す。	C2 他者との共生のなかで、日本の文化を形づくる普遍的な思想や感性に気づき、現代社会に投影できる。
知	A1 歴史的仮名遣いや古語を理解する。基本となる文法・句法を理解する。	B1 時代ごとの世相と作品との影響関係を理解する。古典における修辞法を理解する。	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

A3	B3 信仰の対象の描かれ方について現代との比較から課題意識を持つ。	C3
A2 単語と文法を調べて直訳する。	B2 信仰の対象の描かれ方に注目し、解釈の広がり考察する。語の意味の多義性を踏まえて現代語訳を作り、登場人物のやり取りと心情の理解を深める。	C2 現代の日本人の「信仰」に対する認識について考察する。自分の持つ「信仰心」を意識し言語化する。
A1 正しく音読し、用言と助詞・助動詞の文法的知識を定着させる。	B1 その時代の思想、物語の展開の型を理解する。	C1 歴史を通して「信仰」に対する価値観が変わることへの主観的な理由を持つ。

Others 備考	<評価方法> ①ワークシートの課題 ②発表 <ICT> ①Classiポートフォリオ ②keynote ③Google HP
------------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 本科・International Course Standard	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 国語総合古典	Class hours 時間数	2 時間 / 週
---	--	--	--------------	---------------------------	----------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	信仰心をもつということ ―仏教と「光源氏」の世界―	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『新精選国語総合 古典編』明治書院 「古文単語315」桐原書店
Unit Description 単元の概要	1 学期の学びを土台として、「恐ろしい」という感情がその時代ごとの「信仰」のあり方にも関わっていることを踏まえ、いくつかの作品を通して人間と信仰について考察する。なかでも『源氏物語』における恋をめぐるドラマ（怨念、生霊、出家等）に注目し、さまざまなメディアを通して目に触れることが多いテーマを題材に人間の心について議論する。引き続き、作品の読解を通して基本語彙と文法の定着を図る。		

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3	A3	B3 信仰の対象の描かれ方について現代との比較から課題意識を持つ。	C3
好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2 作品を比較しながら関連性を整理することができる。修辞法を踏まえ、多義語の意味を比較検討し、現代語訳を見直す。	C2 他者との共生のなかで、日本の文化を形づくる普遍的な思想や感性に気づき、現代社会に投影できる。	A2 単語と文法を調べて直訳する。	B2 信仰の対象の描かれ方に注目し、解釈の広がり考察する。語の意味の多義性を踏まえて現代語訳を作り、登場人物のやり取りと心情の理解を深める。	C2 現代の日本人の「信仰」に対する認識について考察する。自分の持つ「信仰心」を意識し言語化する。
知	A1 歴史的仮名遣いや古語を理解する。基本となる文法・句法を理解する。	B1 時代ごとの世相と作品との影響関係を理解する。古典における修辞法を理解する。	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。	A1 正しく音読し、用言と助詞・助動詞の文法的知識を定着させる。	B1 その時代の思想、物語の展開の型を理解する。	C1 歴史を通して「信仰」に対する価値観が変わることへの主観的な理由を持つ。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ①ワークシートの課題 ②発表 <ICT> ①Classiポートフォリオ ②keynote ③Google HP
---------------------	---

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 1 年 本科・International Course Standard	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 国語総合古典	Class hours 時間数	2 時間 / 週
----------------------------------	--	---------------------------------	--------------	--------------------	----------

3 学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	英雄たちの物語 —『史記』から読み解く人間像—	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『新精選国語総合 古典編』 明治書院 「古文単語315」 桐原書店
------------------------------	-------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

Unit Description 単元の概要	源氏物語に登場した「光源氏」という貴公子の描写を踏まえ、政治と戦さを生き抜く英雄たちの物語を読み、人間の心を考察する。高2 学年への橋渡しとして、日本でもさまざまなメディアを通して目に触れることが多い、中国古典文学の『史記』を扱う。生き生きとドラマティックに描かれる英雄たちの物語から日本文化のルーツを探るとともに、漢文の読み方、語句の意味、基本句形を理解し習得する。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容
----------------------	--------------------------

楽	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 文法をいかし、適切な現代語訳ができる。	B2 作品を比較しながら関連性を整理することができる。修辭法を踏まえ、多義語の意味を比較検討し、現代語訳を見直す。	C2 他者との共生のなかで、日本の文化を形づくる普遍的な思想や感性に気づき、現代社会に投影できる。	A2 単語と文法、句形を調べて直訳する。	B2 作品ごとのつながりを重視し、物語全体の主題を捉える。語の意味の多義性を踏まえて現代語訳を作り、登場人物のやり取りと心情の理解を深める。	C2 現代の日本人が『史記』のような物語を好む社会的背景を考え、現代社会に活かすことが出来る価値観を指摘する。
知	A1 歴史的仮名遣いや古語を理解する。基本となる文法・句法を理解する。	B1 時代ごとの世相と作品との影響関係を理解する。古典における修辭法を理解する。	C1 日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する。	A1 正しく書き下すことができ、基本語句や句形の意味を理解する。	B1 中国古代の思想、物語の型を理解する。	C1 歴史を通して異文化の価値観が流入したことによる影響を考える。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ①ワークシートの課題 ②発表 <ICT> ①Classiポートフォリオ ②keynote ③Google HP
--------------	---